

令和3年度事業報告

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

I 事業概要

令和3年度のわが国の経済は、長引く新型コロナウイルス感染症の影響下にあり、緊急事態宣言、まん延防止等重点措置等が断続的に発出されるなど、景気は落ち込みと持ち直しを繰り返し、停滞が続いた1年となりました。

国内の貨物総輸送量は前年度に引続き増加したものの、コロナ前の水準には戻せず、力強さを欠く状況にあります。

この間、政府による緊急経済対策が講じられるなどしましたが、コロナ禍からの世界経済回復に伴う原油の需要増や一部産油国の生産停滞、一方、ロシアによるウクライナ侵略などの地政学的な変化が世界の原油価格や需給に大きな影響を与える状況にあり、トラック運送事業者は依然として、厳しい経営状況が続いています。

こうした中、令和2年4月に告示された「標準的な運賃」の届出を促進し、適正な運賃・料金の収受について、各種メディアを活用し荷主企業並びに一般消費者に対して理解と協力を求めたほか、原油価格高騰を受けた軽油等の高騰対策については、全日本トラック協会と連携し、燃料高騰分の価格転嫁のための対策、燃料費負担の軽減に資する補助支援制度などを政府に要請しました。今後も現状の変化に応じた対策を機動的に継続してまいります。

また、エッセンシャルワーカーとしてコロナ禍にあっても輸送業務を継続する会員事業者のための感染予防対策に係る助成事業をはじめ、トラック輸送の社会的使命を果たすべく、より安定的な輸送力の確保と安心・安全で質の高い輸送サービスを提供していくため、安全対策、環境対策、労働対策、経営改善対策、消費者対策、適正化事業対策に係る各事業のほか、災害時物流体制の構築、重要物流道路・高速道路網の整備推進等社会情勢等に機動的に対応した諸対策を積極的に推進しました。

II 総務事項

1. 会員

1,396社（東部250社、富士244社、清庵137社、静岡139社、中部182社、中遠182社、西部219社、北遠43社）

2. 役員

- ・理事 36名（正副会長6名、専務理事1名含む）
- ・監事 3名
- ・名誉会長 1名
- ・常任理事 15名（理事より選出）

3. 委員会

- ・総務・交付金委員会 8名
- ・交通対策委員会 15名
- ・物流ネットワーク委員会 21名
- ・経営・労働対策委員会 8名
- ・人材養成事業運営委員会 8名
- ・広報・環境CSR委員会 8名
- ・地方適正化事業委員会 8名
- ・災害対策委員会 17名

4. 事務局

職員（嘱託含む） 37名（男子22名、女子15名）

5. 行政官庁申請、届出事項

- 4月15日 令和2年度運輸事業振興助成交付金（以下「交付金」）事業実績報告書を静岡県知事に提出
- 4月15日 令和2年度交付金事業実施状況報告書を中部運輸局長に提出
- 5月19日 令和2年度交付金事業交付額確定
- 6月3日 令和2年度地方適正化事業報告書及び収支決算書を中部運輸局長に提出
- 6月29日 令和3年度交付金事業計画届出書を中部運輸局長に提出
- 6月29日 令和3年度交付金交付申請を静岡県知事に提出
- 7月29日 令和3年度交付金交付申請静岡県承認
- 9月13日 令和3年度上期交付金概算払承認申請を静岡県知事に提出
- 1月11日 令和3年度下期交付金概算払承認申請を静岡県知事に提出
- 2月28日 令和3年度交付金事業計画変更届出書を中部運輸局長に提出
- 2月28日 令和3年度交付金事業計画変更承認申請を静岡県知事に提出
- 3月4日 令和3年度交付金事業計画変更申請静岡県承認

3月15日 令和4年度地方適正化事業に係る事業計画及び収支予算書を中部運輸局に提出

6. 登記事項

理事の変更（令和3年5月27日任期満了に伴う）

令和3年7月12日登記

代表理事 退任 1名、重任 1名、就任 1名

理事 退任 12名、重任 24名、就任 12名

監事の変更（令和3年5月27日任期満了に伴う）

令和3年7月12日登記

監事 退任 2名、重任 1名、就任 2名

7. 表彰関係

叙位

正五位 1名 鈴木 善之助（元 静岡県トラック協会 会長）

国土交通大臣表彰（上申）

事業役員 1名

中部運輸局長表彰（上申）

事業役員 3名、運転者 5名

静岡運輸支局長表彰（上申）

事業役員 3名、運転者 15名、その他従事者 3名、運行管理者 2名

安全性優良事業所 2事業所

全日本トラック協会会長表彰（上申）

一般表彰 運転者 10名

優秀運転者顕章 金十字章 37名、銀十字章 101名

「正しい運転・明るい輸送運動」に係る優良事業所表彰 4事業所

交通安全協会会長表彰（上申）

「正しい運転・明るい輸送運動」に係る優良事業所表彰 3事業所

静岡県トラック協会会長表彰

会社役員 7名、運転者 60名、従業員 11名

「正しい運転・明るい輸送運動」に係る優良事業所表彰 13事業所

支部長表彰

事業所役員 3名、運転者 84名、従業員 12名

III 会議

1. 通常総会

令和3年度通常総会（5月27日/書面開催）

- ・令和2年度事業報告、収支決算に関する件
- ・令和2年度運輸事業振興助成交付金収支報告に関する件

- ・常勤役員の報酬限度額（総額）に関する件
- ・任期満了に伴う役員改選に関する件

2. 理事会

第1回理事会（4月22日）

- ・入会申込事業者並びに退会会員に関する件
- ・令和2年度事業報告・収支決算に関する件
- ・令和2年度運輸事業振興助成交付金収支報告に関する件
- ・令和2年度地方貨物自動車運送適正化事業に係る事業報告及び収支決算に関する件
- ・令和3年度収支予算一部修正に関する件
- ・令和3年度（第45回）近代化基金融資公募に関する件
- ・任期満了に伴う役員候補者に関する件
- ・令和3年度通常総会日程並びに提出議案に関する件
- ・協会組織の一部変更（案）に関する件
- ・支部規約の一部改正（案）に関する件
- ・交付金運営対策委員会運営要綱の一部改正（案）に関する件

第2回理事会（5月27日）

- ・令和3年度通常総会運営に関する件

第3回理事会（5月27日）

- ・議長選出に関する件
- ・正副会長並びに専務理事、常任理事の選任に関する件

第4回理事会（7月21日）

- ・入会申込事業者並びに退会会員に関する件
- ・第20回チャリティーゴルフ大会に関する件
- ・全国トラック運送事業者大会に関する件
- ・本部、支部の意思決定方法の統一化に関する件
- ・新型コロナウイルスワクチン職域接種に関する件
- ・助成金交付要綱の制定（案）並びに一部変更（案）に関する件

第5回理事会（9月21日/書面開催）

- ・入会事業者並びに退会会員に関する件
- ・緊急・救援輸送基本要綱（案）に関する件
- ・新型コロナウイルス感染予防対策助成金交付要綱（案）に関する件

第6回理事会（11月18日）

- ・入会申込事業者並びに退会会員に関する件
- ・新春トップセミナー・賀詞交歓会開催（案）に関する件
- ・軽油価格高騰に関する諸活動に関する件

第7回理事会（1月18日）

- ・入会申込事業者並びに退会会員に関する件
- ・就業規則一部改正（案）に関する件

- ・新規入会手続き・マニュアル改正（案）に関する件
- ・理事会等運営規則（案）に関する件
- ・令和4年度支部予算（案）に関する件
- ・トラックの森事業に関する件
- ・「左側方視野確認支援装置助成事業」の予算措置に関する件
- ・令和3年度交付金事業計画変更に関する件

第8回理事会（3月11日）

- ・入会申込事業者並びに退会会員に関する件
- ・支部サービスセンターの整備計画に関する件
- ・令和4年度事業計画（案）及び収支予算（案）に関する件
- ・令和4年度交付金事業収支予算（案）に関する件
- ・令和3年度交付金事業収支予算変更（案）に関する件
- ・令和4年度地方貨物自動車運送適正化実施機関事業計画・収支予算（案）に関する件
- ・入会マニュアル改定に伴う対応に関する件
- ・「支部・管理費等の支出管理基準」の改定（案）に関する件

3. 正副会長会議

正副会長会議（4月22日、5月27日、6月23日、7月21日、8月19日/書面開催、10月21日、11月18日、12月9日、1月6日、1月18日、3月4日、3月11日）

4. 常任理事会

常任理事会（4月15日、6月23日、8月19日/書面開催、10月21日、12月9日、3月4日）

5. 委員会

交通対策委員会（6月2日、7月26日、12月17日、2月28日/書面開催）

物流ネットワーク委員会（3月7日/書面開催）

経営・労働対策委員会（7月6日、8月16日/書面開催、2月28日/書面開催）

総務・交付金委員会（4月15日、6月23日、11月26日、2月22日）

人材養成事業運営委員会（7月6日、12月7日、2月25日/書面開催）

地方適正化事業委員会（8月4日、2月22日/書面開催、評議委員会3月9日/書面開催）

広報・環境CSR委員会（7月5日、12月17日、2月24日）

災害対策委員会（8月4日、2月28日/書面開催）

6. 部会

青年部会

- ・全体会議（6月11日）
- ・役員会（5月12日、6月11日、7月13日、9月17日/WEB、11月10日、1月15日、2月15日/WEB、3月12日）

- ・中部ブロック青年部協議会への参加（4月8日、6月23日、8月24日/WEB、10月12日、12月9日、3月8日）
- ・全ト協青年部会全国代表者協議会への参加（6月18日/WEB、11月26日、2月17日/WEB）
- ・全ト協青年部会正副部会長会議への参加（6月18日、7月29日/WEB、9月22日/WEB、11月26日、12月22日、2月17日）
- ・ブロック大会への参加（関東ブロック6月25日/WEB、北海道ブロック8月27日/WEB、近畿ブロック9月4日/WEB、中国ブロック10月22日、北陸信越ブロック10月29日、中部ブロック11月5日、四国ブロック11月12日、東北ブロック11月17日/WEB、九州ブロック1月21日/WEB）
- ・全国大会への参加（2月18日/WEB）
- ・熱海市の土石流災害に伴う義援金（15万円）の寄贈
- ・絵本読み聞かせ会（10月19日/焼津市立静浜幼稚園）
- ・K-mixラジオでの絵本読み聞かせ・オリジナルラジオCMの放送（10月6日/K-mix Wiz）
- ・K-mixラジオ特番の企画・出演（3月19日/K-mixらじコン）
- ・標準的な運賃の届出説明会（4月13日/WEB、5月17日/WEB）
- ・全体研修会（レベル4自動運転トラックの実現に向けた取組3月12日/WEB併用）

女性部会

- ・全体会議（6月21日）
- ・役員会（4月16日、5月7日、6月21日、7月26日、11月5日、3月2日）
- ・全体研修会（SDGsオンラインセミナー）開催（9月21日/WEB、9月27日/WEB）
- ・業界広報イベントを実施（清水まぐろ博2021出展）（12月5日）
- ・少女8人制サッカー大会に協賛（12月18日～19日）
- ・熱海市の土石流災害に伴う義援金（5万円）の寄贈
- ・使用済み切手収集・寄贈（5.9kg）
- ・中部ブロック女性協議会への参画（5月18日/WEB、6月23日/WEB、3月3日/WEB）
- ・全ト協女性部会全国代表者協議会への参加（8月6日/WEB）
- ・中部ブロック研修会の開催（幹事担当/11月19日/WEB）
- ・全国研修会への参加（9月24日/WEB）

建設機械運搬部会

- ・全体会議（5月11日/書面開催）
- ・役員会（4月14日、5月11日、7月28日、10月6日、11月24日、1月26日、3月24日）

海上コンテナ部会

- ・全体会議（6月22日/書面開催）
- ・役員会（5月25日、7月26日/書面開催、12月1日/書面開催）

引越部会

- ・全体会議（6月3日/書面開催）
- ・役員会（5月12日、12月7日）

冷凍・冷蔵部会

- ・全体会議（6月23日/書面開催）

- ・役員会（4月22日、6月23日、11月18日）

その他の会議

- ・全日本トラック協会・中部トラック協会、関係機関並びに団体の主催する会議に、正副会長、理事、委員事務局がそれぞれ出席しました。

IV 監査会等

○野呂伸一郎公認会計士による監査（4月13日）

○協会監事による監査（4月19日）

○税理士法人アークネットによる監査

- ・本部監査 4月12日、6月25日、7月21日、8月24日、9月22日、10月19日、11月22日、12月23日、1月20日、2月21日、3月23日
- ・支部監査等 4月12日、7月28日、10月26日、1月25日、3月24日

○交付金事業関係ヒアリング等

- ・令和2年度交付金事業実績及び令和3年度交付金事業計画（4月23日）
- ・交付金事業10月末執行状況ヒアリング（12月15日）
- ・交付金事業1月末執行状況ヒアリング（3月10日）

V 会員の現況

令和4年3月31日現在における会員の現況は、次の表1～4のとおりです。

表1 事業種別会員数(主たる事業種別)

	一般	条件	特別 積合せ	特定	第2種 利用	第1種 利用	霊柩	急便	計
東部	242	1	2	2	0	1	2	0	250
富士	233	2	1	2	1	4	1	0	244
清庵	129	3	1	1	0	1	1	1	137
静岡	122	4	6	2	1	1	2	1	139
中部	174	1	2	1	0	1	3	0	182
中遠	180	2	0	0	0	0	0	0	182
西部	207	5	2	2	0	1	2	0	219
北遠	40	0	1	0	0	0	2	0	43
合計	1,327	18	15	10	2	9	13	2	1,396

表2 車両規模別会員数

	1～5両	6～ 10両	11～ 20両	21～ 30両	31～ 50両	51～ 100両	101両～	保有 車両なし	計
東部	32	59	68	42	29	17	3	0	250
富士	20	61	87	34	23	9	6	4	244
清庵	18	21	32	19	22	16	8	1	137
静岡	8	21	44	25	24	10	6	1	139
中部	15	41	51	23	26	18	7	1	182
中遠	12	47	49	18	27	21	8	0	182
西部	16	39	62	30	41	21	9	1	219
北遠	3	9	9	7	6	8	1	0	43
合計	124	298	402	198	198	120	48	8	1,396

表3 積載量別車両数

	2トン まで	3.5トン まで	5トン まで	8トン まで	10トン まで	12トン まで	15トン まで	24トン まで	24トン 超	計
東部	1,911	1,626	196	286	302	398	1,449	161	160	6,489
富士	318	687	147	122	301	574	2,163	385	139	4,836
清庵	377	750	168	196	308	749	991	1,128	551	5,218
静岡	1,223	1,595	245	211	246	260	853	75	58	4,766
中部	365	1,267	125	298	193	529	1,564	303	168	4,812
中遠	714	1,381	118	279	310	389	1,938	305	136	5,570
西部	862	2,111	184	427	516	299	1,816	159	108	6,482
北遠	142	514	51	58	66	88	396	36	28	1,379
合計	5,912	9,931	1,234	1,877	2,242	3,286	11,170	2,552	1,348	39,552

表4 車種別車両数

	普通	小型	けん引	被けん引	特殊車両	計
東部	5,544	280	323	342	0	6,489
富士	3,787	92	446	511	0	4,836
清庵	2,694	155	729	1,638	2	5,218
静岡	4,127	386	126	127	0	4,766
中部	3,795	133	408	474	2	4,812
中遠	4,526	193	373	478	0	5,570
西部	5,465	250	347	420	0	6,482
北遠	1,203	37	79	60	0	1,379
合計	31,141	1,526	2,831	4,050	4	39,552

VI 各種事業活動

1. 経営・労働対策事業

トラック運送事業における適正取引の推進を図るため、令和2年4月に告示された標準的な運賃の活用促進、トラックドライバーの長時間労働の抑制、トラックドライバー不足に対する人材確保対策等労働環境の整備、トラック運送事業の生産性向上等に係る各取組みを推進しました。

(1) 「標準的な運賃」の普及推進の取組み

- ・「標準的な運賃」に係る届出状況 1,014社（届出率92.7%）
- ・「標準的な運賃」の届出等説明会 32回（4月～8月） 延べ380名参加
- ・「標準的な運賃活用セミナー（応用編）」の開催（10月4日）
- ・本部・支部に相談窓口設置
- ・広報誌を通じて届出推進
- ・荷主向けPRキャンペーン（商工会議所等向けにチラシ作成・配布、WEBアンケート、ギフトカードプレゼント）
- ・荷主向けに「適正な運賃・料金收受および燃料サーチャージ」に係るリーフレット配布（3月）
- ・標準的な運賃PRのためのテレビCM放映（9～11月、2～3月、静岡第一テレビ、静岡朝日テレビ、静岡放送、テレビ静岡）





- ・新聞広告掲載「標準的な運賃」「燃料サーチャージ」「2024年問題」「価格転嫁対策」（2～3月、日経、静岡、中日）

トラック輸送の「標準的な運賃」が定められました
～持続可能な物流を実現し、荷主の皆さんの輸送ニーズに速速に対応するために～

国土交通省、国土交通省、国土交通省、国土交通省

燃料サーチャージにご理解ください
安定的な輸送を確保するためには、標準的な運賃と燃料サーチャージ等、適正な運賃・料金の収支が必要です。

燃料費の上昇が負担を発生させ、運賃を上げざるを得ない状況です。

「物流の2024年問題」を走り抜ける覚悟と荷主様へのお願い。

国土交通省は「標準的な運賃」を告示しました。

政府はエネルギーコストなどの上昇を踏まえた価格転嫁対策に全力で取り組んでいくことになりました
～適正な運賃・料金の収支、燃料サーチャージにご理解を～

燃料サーチャージの導入は、燃料費の上昇を踏まえた価格転嫁対策の一環として、適正な運賃・料金の収支を確保するために必要です。

- (2) トラック輸送における取引環境・労働時間改善に向けた取組みの推進
- ・物流フォーラム（輸送懇談会）「物流DX時代のトラック運送」の開催（11月8日/オンライン）

物流DX時代のトラック運送
～物流業界にもっとらくらくを～

DXとは、物流の効率化やコスト削減のために導入されるデジタル技術のことです。

物流DX時代のトラック運送
～物流業界にもっとらくらくを～

物流DX時代のトラック運送、物流業界にもっとらくらくを～

- ・「燃料サーチャージの導入等燃料高騰に対する荷主との交渉術習得セミナー」の開催（11月30日午前・午後）
- ・燃料サーチャージ導入に関する荷主向け協力依頼文書の作成・活用推進

国土交通省 告示
令和6年10月31日

一般社団法人静岡県トラック協会
会長 森 繁
代表取締役 〇 太郎

新運賃高騰下における適正取引推進のご理解とご協力のお願い

拝啓 貴社ますますご清栄のこととお祈り申し上げます。
平素貴社のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、前記の通り11月に国土交通省より「標準的な運賃」の告示がなされ、各社から運賃引上げの要請が相次いでいる状況です。国土交通省は、荷主の皆さんに「標準的な運賃」の告示を通知し、適正な運賃・料金の収支を確保するために必要不可欠なものであるとして、荷主の皆さんにご理解とご協力を求めています。

このうち、昨今の燃料高騰は、トラックの燃料費に占める割合が約2割に達している状況であり、運賃引上げの要請が相次いでいる状況です。国土交通省は、荷主の皆さんに「標準的な運賃」の告示を通知し、適正な運賃・料金の収支を確保するために必要不可欠なものであるとして、荷主の皆さんにご理解とご協力を求めています。

このように、昨今の燃料高騰は、トラックの燃料費に占める割合が約2割に達している状況であり、運賃引上げの要請が相次いでいる状況です。国土交通省は、荷主の皆さんに「標準的な運賃」の告示を通知し、適正な運賃・料金の収支を確保するために必要不可欠なものであるとして、荷主の皆さんにご理解とご協力を求めています。

燃料サーチャージとは、燃料高騰によるコスト増を踏まえた価格転嫁対策の一環として、適正な運賃・料金の収支を確保するために必要です。国土交通省は、燃料サーチャージの導入を推進し、荷主の皆さんにご理解とご協力を求めています。



- ・静岡県トラック輸送における取引環境・労働時間改善地方協議会（8月3日、2月24日）
- ・公正取引講習会（物流特殊指定・下請法など）オンライン開催周知

(3) K P I（重要業績評価指標）導入事業

- ・コンサルティング対象事業者の公募・個別指導実施（2社選定）

(4) 生産性向上・原価管理

- ・中小トラック運送事業者のためのIT活用セミナー（全ト協との共催）（10月28日）

(5) 働き方改革への対応

- ・労働時間に関する法制度等説明会 10回（7月7日、7月16日、7月27日、10月6日、10月13日、10月19日、10月22日、10月27日、11月10日、11月24日）
- ・「ホワイト物流」推進運動オンラインセミナー開催周知（10月）

(6) ドライバー等人材確保対策

- ・物流業界(トラック)就職相談会の開催 24回（6月～7月、10月～11月）
- ・高校生・若年層向け「バーチャル職場体験セミナー」開催（新型コロナウイルス感染症対策として、4社の職場体験動画を作成し当会HP上にて公開）



- ・人材採用ノウハウ習得のための「人材確保セミナー」開催(全ト協との共催)
（11月26日）
- ・後継者・経営幹部育成のためのセミナー開催 全4回（6月10日、6月23日、7月8日、7月29日）

(7) 運行管理者の充足対策

- ・運行管理者試験対策のための勉強会の実施（7月3日、7月14日、1月29日、2月4日）

(8) 引越利用者に対するサービス向上の取組み

- ・引越基本講習の開催（11月16日）14名受講
- ・引越管理者講習の開催（11月17日）29名受講

(9) 近代化基金融資事業

- ・一般融資、ポスト新長期規制適合車融資の実施

(10) 助成事業

- ・運転資金等利子補給助成
- ・信用保証料助成
- ・「働きやすい職場認証制度」審査申請費用助成
- ・新型コロナウイルス感染予防対策助成
- ・全ト協自家用燃料供給施設整備支援事業助成（事務取扱）

2. 交通事故・労働災害防止対策事業

「トラック事業における総合安全プラン2025」で設定した死者数及び重傷者数の目標を達成するため、事業用トラックの特徴的な交通事故実態に即した事故防止対策や事故削減に有

効な安全装置などの普及に取り組みました。また、荷役作業時における墜落・転落事故等の労働災害の防止に向けた啓発活動を推進しました。

(1) 交通事故防止対策の各種運動等

- ・トラックドライバー・コンテスト静岡県大会（6月19日） ※学科競技のみ



- ・安全運転コンクールの実施（4月1日～6月30日）
- ・交通安全運動の実施（春・夏・秋・年末年始）
- ・トラックの日交通安全立哨活動（10月8日）



- ・正しい運転・明るい輸送運動（11月16日～1月10日）

(2) 交通安全セミナーの開催

- ・認知症対策セミナー（4月21日）
- ・健康起因事故防止セミナー（12月14日）
- ・静岡県トラック協会事故防止セミナー（2月24日/オンライン配信）



(3) 安全プラン2025目標達成に向けた交通事故削減のためのパイロット事業（3社参加）

(4) 運転適性診断の受診促進の支援等

- ・適性診断機器（警察庁方式）の活用促進
- ・動体・夜間視力計の活用促進

(5) 助成事業

- ・運転適性診断受診料助成
- ・運行管理者講習（一般・基礎）受講料助成
- ・後方・側方視野確認支援装置導入促進助成
- ・ドライブレコーダ機器導入促進助成
- ・EMS機器導入促進助成
- ・運転記録証明書交付申請助成
- ・ドライバー定期健康診断受診料助成
- ・脳ドック、心臓ドック受診料助成
- ・睡眠時無呼吸症候群（SAS）スクリーニング検査助成
- ・血圧計・非接触型体温計導入促進助成
- ・ながら運転防止支援サービス導入促進助成

- ・転落防止用荷台昇降設備導入促進助成
- ・全ト協安全装置等導入促進助成（事務取扱）
- ・全ト協点呼支援機器等導入促進助成（事務取扱）

(6) 交通安全PRグッズの作成・配布（ホイールナットインジケーター、横断バックマスコット）

3. 総合物流対策事業

新型コロナウイルス感染症の影響などにより経済活動の見通しが不透明ななか、トラック運送事業の経営の健全化を図るため、高速道路料金の割引制度、渋滞箇所の緩和措置などの道路環境の整備等の要望を全日本トラック協会と協調して推進しました。

(1) トラック運送業界からの支援要望

- ・静岡県選出自由民主党衆参国會議員等への要望

<p style="text-align: right;">令和3年 月</p> <p style="text-align: center;">殿</p> <p style="text-align: center;">令和4年度トラック関係施策に関する要望書</p> <p style="text-align: center;">公益社団法人 全日本トラック協会 会長 坂本 克己</p> <p style="text-align: center;">一般社団法人 静岡県トラック協会 会長 佐野 寛</p>	<p style="text-align: center;">令和4年度トラック関係施策に関する要望項目</p> <p>●税制改正関連要望項目</p> <ol style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症に係る各種軽減措置 自動車関係諸税の簡素化・軽減等 <ol style="list-style-type: none"> 自動車関係諸税の簡素化・軽減 自動車税における空白格差見直し反対 自動車重量税の道路特定財源化 特別措置の延長 <ol style="list-style-type: none"> 物流総合効率化法に基づく特別措置の延長 少額資産即時償却の延長 地方拠点強化税制の延長 トラック協会が運営する地域防災・災害対策関連施設等について固定資産税の軽減措置の適用 <p>●道路関係要望項目</p> <ol style="list-style-type: none"> 高速道路料金等の引下げ <ol style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス禍における料金割引の拡充 <ol style="list-style-type: none"> 大口・多頻度割引を事実50%割引に拡充（NEXCO3社） 車種間比率変更緩和措置の延長（首都高速、阪神高速、名古屋高速） 労働環境改善および交通流動量適化を図る料金制度 <ol style="list-style-type: none"> 長距離通次割引の拡充（NEXCO3社） 深夜割引の拡充（NEXCO3社） 渋滞対策等に資する料金・割引制度の設定（NEXCO3社、首都高速、阪神高速）
<ol style="list-style-type: none"> ④首都高速等における割引制度の拡充 ③福岡・北九州圏におけるシンプルでシームレスな高速道路料金 ③本四高速における割引制度の拡充 ④フェリー等利用に対する補助・助成制度の創設 <p>2. 物流基盤の整備</p> <ol style="list-style-type: none"> ①高速道路ネットワークの整備・充実 <ol style="list-style-type: none"> ①「重要物流道路」の指定、指定道路への集中投資 ②暫定2車線区間の4車線化 ③ミッシングリンクの解消 ④渋滞対策の推進 ⑤ダブル車線トラックや隊列走行・自動運転の推進に資する実施環境整備の推進 ⑥下関北九州道路の早期実現 ②休憩・休息施設、中継物流拠点の整備・拡充 <ol style="list-style-type: none"> ①高速道路のSA・PA、道の駅における駐車スペースの整備・拡充 ②シャワー施設等、休憩・休息施設内の施設の充実 ③中継物流拠点の全国展開による中継輸送の推進 <p>3. その他諸施策の推進</p> <ol style="list-style-type: none"> ①冬期における交通対策 <ol style="list-style-type: none"> ①冬期における道路交通の確保 ②大雪時の積雪のない通行止め ②自然災害時の高速道路料金 ③ETC2.0によるサービスの充実 ④特殊車両通行に係る手続きの簡素化、短期間化 ⑤超過度を反映した待車通行許可違反点数制度 	<p>●予算・施策関係要望項目</p> <ol style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症予算要望 <ol style="list-style-type: none"> ①事業継続に困難なトラック事業者への支援 ②雇用調整助成金特例措置の継続 ③雇用の維持に関する各種助成金の継続 ④エッセンシャル事業に対する支援 働き方改革予算要望 <ol style="list-style-type: none"> ①標準的な運賃の普及・浸透に向けた支援 ②働き方改革実現のための諸対策に係る補助・助成の拡充 環境・交通安全予算要望 <ol style="list-style-type: none"> ①環境対策及び省エネ対策のための補助 <ol style="list-style-type: none"> ①石油石炭税の「地球温暖化対策のための優遇の特例」に係る補助の継続 ②次世代自動車等の普及に係る補助の継続・拡充 ②交通安全対策のための補助 <ol style="list-style-type: none"> ①ASV（先進安全自動車）関連機器の導入に対する補助の拡充 ②デジタル式運行記録計、ドライブレコーダ等運行管理支援機器の導入に対する補助の継続及び拡充 施策要望 <ol style="list-style-type: none"> ①市街化調整区域に係る法制度の見直し

(2) 新型コロナワクチンの職域接種の実施検討

- ・会員ドライバー2,000名を対象に職域接種を7月実施予定として計画（7月21日、国からのワクチン供給遅延を理由に計画中止）

4. 広報事業

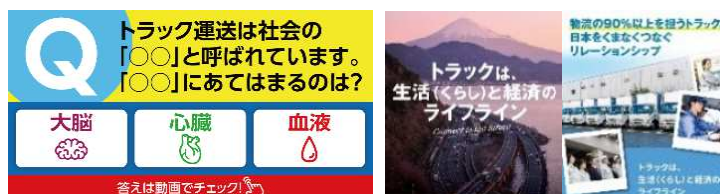
トラック運送事業の社会的地位の向上を図るため、トラック輸送の役割と重要性及び業界に対するイメージについて、正しい理解を求める周知活動を推進した。

(1) 業界のイメージアップ及び周知・啓蒙の取組

- ・会報誌「静岡県トラック情報」の定期発行（月1回発行：4月～3月）
- ・静岡県トラック協会ホームページの運営
- ・国道1号「道の駅掛川」交通安全広報
- ・ラジオCM（業界PR）の放送（9月～10月）
- ・テレビCM（業界PR）の放送（10月～3月）
- ・オンデマンド（Tver）を活用した業界CM配信（9月～10月）



- ・WEB（Yahoo、LINE）を活用した広報（9月～10月、2月～3月）



- ・自動車学校へ業界PRリーフレットを配付（通年）
- ・フリーマガジン「すろーかる」への掲載（10月号、2月号）



5. 環境CSR事業

社会との共生と環境にやさしいトラック輸送を目指し、エコドライブの推進、「トラックの森」づくり事業等の地球温暖化防止に向けた取組のほか、先進環境対応車両の普及等の交通環境対策を推進しました。

(1) 地球温暖化防止県民会議への参画

- ・地球温暖化防止県民会議 計画検討評価部会（8月5日、11月12日）

- ・地球温暖化防止県民会議（2月17日/WEB）
- (2) SDGs（持続可能な開発目標）達成のための取り組みの推進
- ・協会ホームページに特設ページを開設しSDGsに係る取組を公表



- (3) 県市が行う環境対策事業への協賛
- ・静岡県ふじのくにCOOLチャレンジ実行委員会（5月28日、8月20日書面、11月9日/WEB）
 - ・静岡市森林環境アドプト事業への寄付（8月）
- (4) 脱炭素社会の実現に向けた取組
- ・清水港カーボンニュートラルポート協議会（11月30日、2月28日/WEB）
- (5) 「トラックの森」づくり事業
- ・植栽、除草作業の実施
 - ・「トラックの森」づくり絵画コンテストの実施
- (6) 道路清掃活動
- ・各支部において道路清掃活動用の横断幕を作成（8月）
 - ・各支部・会員各社が自社周辺にて清掃活動・交通安全立哨活動を実施（10月8日）



- (7) その他会議等
- ・富士山麓不法投棄防止ネットワーク推進会議（7月27日）
 - ・しずおか男女共同参画推進会議（8月31日/WEB、10月19日/WEB）
- (8) 助成事業
- ・環境対応車導入促進助成（天然ガス車・ハイブリッド車）
 - ・自動車排出ガス規制等適合ディーゼル車導入促進助成
 - ・エコタイヤ装着助成
 - ・グリーン経営等認証制度促進助成
 - ・全ト協アイドルリングストップ支援機器導入促進助成（事務取扱）

6. 貨物自動車運送適正化事業

貨物自動車運送事業法第39条に基づいて、貨物自動車運送事業に関する輸送秩序の確立、輸送の安全の確保等について、運輸支局等関係行政機関と連携して貨物自動車運送事業者の法令遵守に係る指導・啓発等を実施しました。

- (1) 適正化巡回指導（4月～3月）

- ・事業所巡回指導件数 659件（会員499件、未会員160件）

(2) 安全性評価事業

- ・2021年度貨物自動車運送事業安全性評価事業に係る事前説明会（4月6日/WEB）
- ・2021年度貨物自動車運送事業安全性評価事業Gマーク認定申請要領等講習会
（5月12日西部支部、5月21日本部、5月25日東部支部）
- ・2021年度貨物自動車運送事業安全性評価事業事前相談会（6月15日・24日東部支部、
6月17日・22日西部支部、6月8日～29日本部）
- ・2021年度申請受付業務 249件（新規61件、更新188件）
- ・2021年度認定件数 239件（新規56件、更新183件）

(3) 指導講習等

- ・新規許可事業者等指導講習会（4月23日、11月12日）
- ・長時間労働改善に向けた説明会（2月16日）

(4) 運輸支局等との連携

- ・通報監査連絡会議 12回（4月～3月）
- ・中部ブロック適正化事業機関と中部運輸局の連携合同会議 2回（2月10日/WEB、
3月7日）

7. 研修事業

経営者・管理者からドライバーに至るまで幅広い人材の育成が不可欠であることから、各種の研修を開講し、安全で安心な運送事業の構築を図りました。また、新型コロナウイルス感染対策の観点から、オンライン研修を多用するなど受講機会の維持に努めました。

(1) 各種研修の実施等

- ・物流管理系、安全管理系、安全対策系、事務系講座の開催（82講座）
- ・人材育成・教育用DVD等の貸出

(2) 助成事業

- ・人材養成のための労働安全関係資格取得推進助成
- ・運転免許取得助成
- ・中部トラック総合研修センター研修助成
- ・全ト協準中型免許取得助成（事務取扱）
- ・全ト協ドライバー等安全教育訓練助成（事務取扱）
- ・全ト協中小企業大学校講座受講促進助成（事務取扱）

8. 社会貢献事業

社会と共生するトラック輸送業界として、交通事故防止対策をはじめとした身近な社会貢献についての取組みを実施しました。

- ・交通安全教室の開催 13回（スケアードストレイト方式含む）



- ・少女8人制サッカー大会の協賛（12月）

9. 災害対策事業

南海トラフ巨大地震等の大規模自然災害の発生を想定し、緊急時における輸送要請に対応するため、県・市町・関係機関等との連携のもと、緊急物資輸送体制の整備に努めました。また、防災マネジメントの普及拡大を目指し、災害物流専門家の育成に取り組みました。

(1) 関係機関との連携

- ・市町協定に基づき相互連絡体制の整備を実施（4月）
- ・災害ロジスティクス中部広域連絡会議への参画（3月31日/書面開催）
- ・賀茂地域広域物資輸送拠点等の現地確認及び輸送シミュレーション（12月6日）



(2) 緊急・救援輸送体制の確立

- ・会員向け災害時の緊急輸送協力調査の実施（4月） 協力641社 3,771台
- ・緊急輸送協力調査の結果に基づく輸送班の想定（7月）
- ・緊急・救援輸送基本要綱の策定（9月21日）
- ・業務マニュアルの策定（2月28日）
- ・災害物流専門家研修への参加 9名（11月24日-25日、愛知県トラック協会）
- ・緊急輸送用車両掲出ステッカーの作成（2月）
- ・通信体制の増強（IP無線12台の導入及び支部配備）（2月）
- ・災害用フォークリフト2台の導入



(3) 緊急物資輸送の実施

- ・熱海市土砂災害に伴う緊急・救援輸送の実施/熱海市から要請（7月10日）
- ・福島県沖地震に伴う災害緊急・救援輸送の実施/静岡市から要請（3月17日）



10. 協会施設整備事業

(1) 整備事業

- ・会員事業者及び従業員の教育研修、福利増進、利用者への輸送相談所、災害等の緊急輸送施設として地域の拠点化を図るため、下記サービスセンターの整備を実施しました。

○東部トラックサービスセンター	外壁改修工事	3月
○清庵トラックサービスセンター	駐車場改修工事	11月
○中部トラックサービスセンター	屋上防水改修工事	7月
	プロジェクター更新工事	11月
○西部トラックサービスセンター	屋上塗装工事	3月
○北遠トラックサービスセンター	自動ドア修理	9月
	植栽部舗装工事	3月

11. 調査事業

トラック運送事業に関連する統計や施策に関連した各種調査を会員事業者の協力を得て、実施しました。

- ・ドライバーの雇用状況調査の実施（7月）
- ・軽油及びトラック用尿素水価格調査（4月～3月：計12回）
- ・輸送実績調査（対象180社）（4月～3月：計12回）
- ・トラック輸送に関する労働環境・取引環境改善に向けたアンケートの実施（11月）

12. 申請・届出等処理関係

- ・事業計画変更に係るもの

①書類取扱（件数）

増	車	2,685		
減	車	2,502		
配	置	換	61	
代	替	24		
認	可	申	請	28
変	更	届	86	
	計	5,386		

②車種別増減車状況（台数）

	増	車	減	車	計	
普	通	車	4,788	4,729	59	
小	型	車	291	308	-17	
牽	引	車	342	314	28	
被	牽	引	車	335	264	71
	計	5,756	5,615	141		

- ・管理者の選任・変更に関するもの
運行管理者 170件 整備管理者 90件

13. 公益目的支出計画事業

平成25年度4月からの一般社団法人への移行に伴う公益目的支出計画として、次の2つの事業を実施し3月末までの支出は次のとおりです。当年度も新型コロナウイルス感染症対策により事業を一部縮小して実施しました。

①継続事業1 「トラックの森」づくり事業

支出額 3,506千円

②特定寄附 公益社団法人全日本トラック協会への寄附金

支出額 17,570千円

合計 21,076千円

(なお、「トラックの森」づくり事業は令和3年度をもって廃止となりました。)

以上が令和3年度における本会の事業執行状況であり、定款の定めるところにより報告いたします。

令和3年度助成事業実績

	助成事業名	実績額	件数等
経営改善	運転資金等利子 新型コロナウイルス対策融資利子	28,276,000	143件
	新型コロナウイルス感染予防対策	8,609,000	375件
	信用保証料助成	4,126,000	47件
	働きやすい職場認証制度審査申請	340,000	17件
交通安全対策	運転記録証明書交付申請	14,523,590	21,677名
	ドライバ-定期健康診断受診料	15,310,000	15,310名
	脳ドック・心臓ドック受診料	11,180,000	758名
	睡眠時無呼吸症候群(SAS) スクリーニング検査	422,500	169名
	血圧計・非接触型体温計	20,000	4台
	後方視野・側方視野確認支援装置	9,336,000	467台
	ドライブレコーダ機器 (標準型・運行管理連携型)	9,794,000	622台
	EMS機器(エコドライブ管理システム機器)	28,830,000	1,471台
	運転適性診断受診料 (一般診断・初任診断・適齢診断)	15,336,000	6,390名
	運行管理者等講習受講料 (一般講習・基礎講習)	7,192,500	2,974名
	ながら運転防止支援サービス	40,000	20台
	転落防止用荷台昇降設備	387,000	21台
環境対策	グリーン経営等認証制度 (グリーン経営・エコアクション21)	1,500,000	66件
	環境対応車 (CNG車・ハイブリッド車)	384,000	4台
	自動車排出ガス規制等適合ディーゼル車 /AT車	35,220,000	331台
	エコタイヤ	34,392,500	13,757本
人材養成	人材養成のための労働安全関係資格 (フォーク・はい作業主任者等講習)	2,893,000	262件
	運転免許 (大型・中型・準中型・けん引)	15,205,000	240件
	中部トラック総合研修センター研修	470,000	3件
	計	243,787,090	